

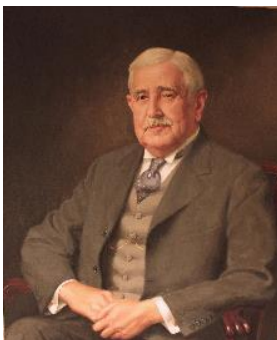
NEWS RELEASE

2023年8月4日
日本板硝子株式会社

米国・ロスフォード工場が創設 125 周年記念イベントを実施

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：細沼 宗浩、以下「NSG」）は、NSG グループの北米事業発祥の地である米国ロスフォード工場（オハイオ州ロスフォード市）の創業 125 周年と、ロスフォード市誕生 125 周年を祝い、7 月末にかけて各種記念イベントを実施しました。

ロスフォード市は、エドワード・フォード氏が 1898 年にガラス製造に特化した企業城下町を開拓したことから始まります。自身の姓である「フォード」と妻のキャロライン・ロスの姓である「ロス」を組み合わせ、その町を「ロスフォード」と名付けました。フォード氏は、もともとペンシルベニア州で家族経営のガラス事業に携わっていたことから、現在のロスフォード市となる原野に 173 エーカー（約 70 万㎡）の土地を購入し、当時としては最大の板ガラス製造工場となるエドワード・フォード・プレートグラス社を設立しました。事業を拡大させていく中で、従業員のために、住宅や教会、学校などを整備したことで、ロスフォードはまたたく間に栄え、125 年もの歴史を有する町へと成長を遂げました。エドワード・フォード・プレートグラス社は、1930 年にリー社との合併ののちに、当グループの北米事業の礎となるリー・オーエンス・フォード社（現 ピルキントンノースアメリカ社）として発展を続けてきました。



エドワード・フォード



Breaking ground for Edward Ford's new plant at Rossford

NSG グループは、この町と共に発展してきた歴史に誇りを持ち、本年 5 月 21 日にスタートした各種記念イベントのメインスポンサーとして協賛しています。7 月 28 日には、ロスフォード工場の見学会を実施し、参加した多くの市民に工場施設見学の機会を提供しました。同市内では他にも、ロスフォード高校での公式オープニングイベントや 125 周年記念パレード、リバーフェストセレブレーションなどが実施されました。



「私たちがロスフォードの125年の歴史の一部となっていることに身が引き締まる思いがします。私たちは記念行事を通じて多くの退職した諸先輩方と出会い、語らい、そのたびに私たちの中に誇りと情熱が生まれるのを感じました。私たちが今ここにいるのは、先人たちの営々とした努力のたまものです。私たちがその歴史を受け継ぎその一部になれることを本当に誇らしく感じています。」

(ロスフォード工場長 David Imbrogno コメント)

「ロスフォード市と同社は125年間にわたって密接に関わりあってきた中で、地域社会や過去から現在に至る従業員達とともにその歴史を祝うことができたのは幸せです。1898年にモーミー川のほとりにガラス工場を建設するというエドワード・フォードのビジョンと、125年後も工場の繁栄が続いていることは素晴らしいと思います。このロスフォードで作られたガラスが、今や世界中の自動車や建築に使用されているのは感慨深いです。」

(建築ガラス事業部門北米事業部長 兼ソーラー責任者 Stephen Weidner コメント)

NSGグループは、事業を展開する地域社会における責任ある一員として、地域の発展に貢献し、これからも地域の皆様と共に歩んで参ります。

ロスフォード125周年記念式典ビデオ (NSGグループ YouTube 動画リンク)

<https://www.youtube.com/watch?v=x8NFTQhcoLg>

ロスフォード市創設125周年記念サイト (英語のみ)

<https://www.visitrossfordohio.com/125th-anniversary>

以上

NSGグループ (日本板硝子株式会社およびそのグループ会社) について

NSGグループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。

建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズや、タイミングベルトの補強材であるグラスコードやガラスフレークを中心とする特殊ガラス繊維、およびファインガラスです。 <https://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ>

(報道関係等) 広報部 Tel : 03-5443-0100